



トールペインティングという聞きなれない言葉をこの村に広めたひとりの女性があります。トールペインティングとは、家具や小物、陶器やガラスなどあらゆる素材をキャンバスに絵を描き、それを日常生活で使用、自分のライフスタイルにあった暮らしを楽しむというものです。現在、岩瀬村に自宅とアトリエを置き、村やその周辺の人たちにトールペインティングの楽しさを教えています。いまでは生徒数が百人を超え、この村から欧米文化を元氣よく発信しています。彼女の描く絵は親しみやすく、モチーフには花や風景等、自然のものが数多く見受けられ、岩瀬の土地柄、彼女の人柄を彷彿させます。

実は彼女は数年前東京から移住、岩瀬の魅力に魅せられて永住を決定したひとりです。いまではこの土地以外での生活を考えられないというほどこの村への思いは強くなっています。

ひとたびこのアトリエに足を踏みいれると、この村には別世界とも思える欧米の雰囲気があります。最初は違和感を感じたこの空間も時間が経つに連れ不思議とこの村になじんでるような感じさえます。

大好きな絵を描いて、大好きな自然と戯れるとき、自分はなんて贅沢で幸せなんだろうと感じるといいます。いまでは村以外から通ってくる生徒さんも少なくありません。この絵を見て、彼女の人物に触れた人がまたこの村に魅せられていくに違いありません。自ら大人のぬりえと称するこのトールペインティング。今、岩瀬の自然に、そして色に確実に溶け込もうとしています。

